

経営比較分析表（令和元年度決算）

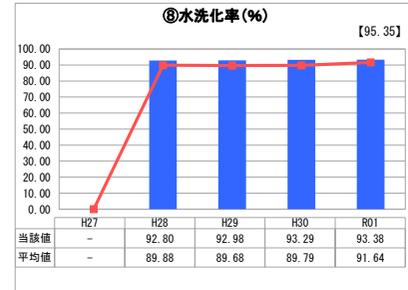
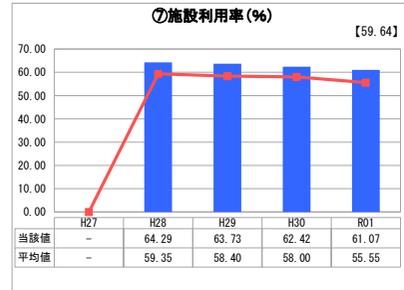
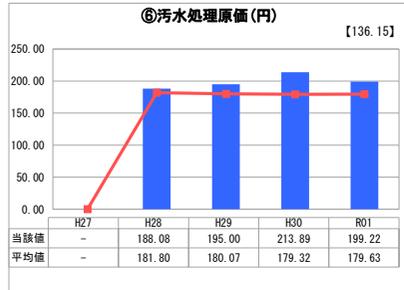
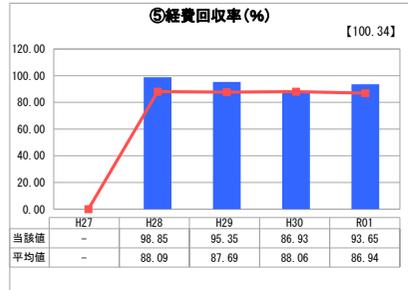
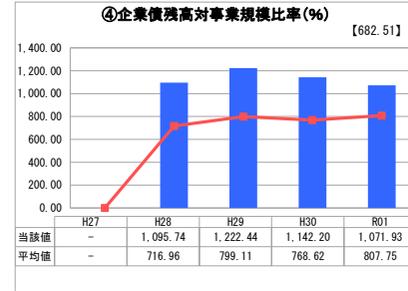
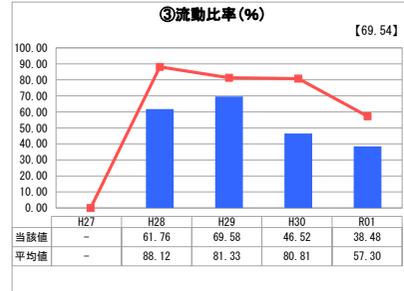
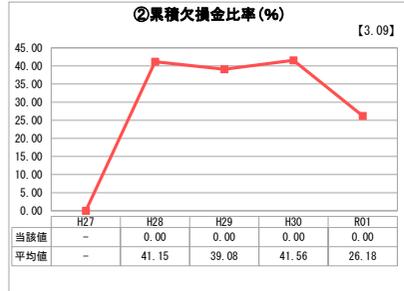
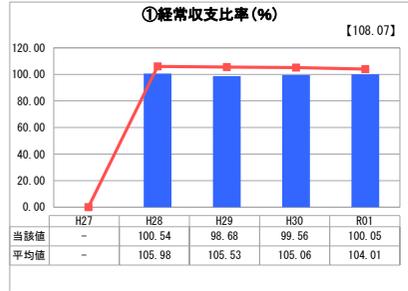
岐阜県 瑞浪市

業務名	業種名	事業名	類似団区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	52.24	71.98	68.59	3,520

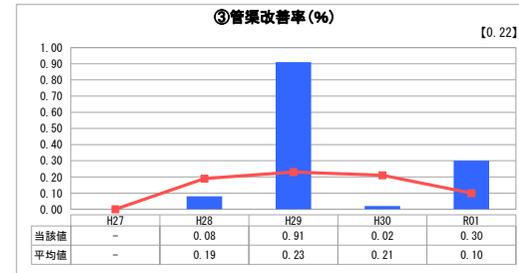
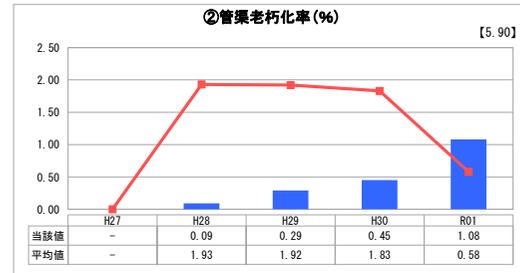
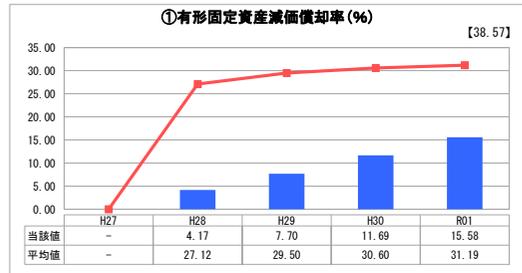
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
37,240	174.86	212.97
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
26,658	10.82	2,463.77

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

正確な経営状況の把握等を目的として、平成28年度から地方公営企業法を適用しています。経常収支比率は、一般会計からの繰入金により概ね100%を超えており、純利益を確保しています。流動比率は、類似団体平均を下回っており、企業債の償還にあたり、一般会計からの繰入金に依存している状況です。企業債残高対事業規模比率は、類似平均を上回っていますが、経営戦略に基づき、今後の建設費を抑制することから、今後減少傾向が続くと想定しています。汚水処理原価は、類似団体平均を上回っており、地理的要因から汚水処理費が高くなっている状況であるため、経営戦略に基づき、維持管理費及び資本費の抑制に継続的に取り組む必要があります。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は、類似団体平均を下回っており、管渠老朽化率は、類似団体よりは大きいですが、全国平均を大きく下回っているため、施設の老朽化は比較的進んでいないと言えます。しかし、法定耐用年数を経過する管路が今後増加していくことから、ストックマネジメント計画に基づき、計画的な管路改築を実施する必要があります。

全体総括

現在の経営は安定している状況ですが、企業債の償還については、一般会計からの繰入金に大きく依存している状況です。今後、人口減少に伴い、営業収益の増加は見込めないことから、経営戦略及びストックマネジメント計画に基づき、水洗化率の向上、維持管理費及び資本費の抑制に継続的に努める必要があります。なお、上記には処理区域面積が10.82となっていますが、正確には10.78です。これにより、処理区域内人口密度も2472.91になります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。